

実践し省察するコミュニティ

実践研究 福井ラウンドテーブル

2016 summer sessions

福井大学総合研究棟 V (教育系 1 号館) ・共用講義棟 / AOSSA (予定)

6/24 Fri. 17:30-18:40

6/25 Sat. 12:40-17:40

Session 0 ポスターセッション 10:00-11:20 **Students' Poster Session**

子どもたちが語る「私たちの学校・学び・未来」

これから、21 世紀半ばの未来を創っていく小学生・中学生が今、この時の教育の中で何を学び、いかに学び、そして未来を切り拓いていくための力と心をいかに培っているのかを、「私たちの学校・学び・未来」というテーマで子どもたち自身の言葉で表現していただきます。

会場 福井大学文京キャンパス総合教育棟 V (教育系 1 号館) 2F ロビー
参加校 募集中

発表申込方法 平成 28 年 6 月 11 日 (土) までに dpdtfukui@yahoo.co.jp までに参加申込の旨、メール連絡ください。メール件名に「Students' Poster Session 報告エントリー希望」とお書きいただき、本文に氏名 (ふりがな) ・所属・役職を御記入ください。

参加費 無料

Zone A 学校 子どもたちのコミュニティを支える教師のコミュニティ

— チームで「育ち」を支える —

教師集団がコミュニティとなって協働することの重要性は、「チーム学校」といった言葉に端的に見られるように、もはや周知のものとなっています。コミュニティやチーム、あるいは協働の重要性が認識されるようになってきたのは、取りも直さず、大きく変動する 21 世紀の社会を生きる子どもたちに、私たちのこれまでの価値観や経験をそのまま教えられないことが明確になってきたからです。そのような教育を求められる今の学校現場では、教師一人の力で全てに対応することに限界があります。だからこそ、私たちは他者とチームになることによって可能性を拓いてきました。これまで「子どもたちのコミュニティを支える教師のコミュニティ」というテーマのもと Zone A が積み重ねてきたセッションでも、そのことが繰り返し確認されてきました。

協働的な実践を積み重ねてきた方々であれば、チームで取り組むことのできる確かな有効性や実り豊かな可能性を実感しているのではないのでしょうか。しかし、たとえチームを組織したとしても、その活動がこれまでの学校教育の枠組みを脱しないとするならば、これからの社会を生きる子どもたちに資するものにはならないかもしれません。一方で、しばしば理念ばかりが先行し、意義は分かるが多忙な現実の中で具体的にはどうすれば良いのかと抵抗感にも似た気持ちを抱いている方々が多いのも現実だと思います。

こうした問題意識のもと、私たちは今回、フラクタルな構造としての「育ち」というキーワードに着目することにしました。これからの社会を生きる子どもたちを支えるという視点から考えるならば、子どもたちの「育ち」だけではなく、そこには、私たち教師の、あるいは学校の、さらには地域や社会全体の、そしてチームそのものの「育ち」の問い直しもまた同時に浮かび上がってくるからです。そこで今回 Zone A では「チームで『育ち』を支える」というサブテーマを設定し、学校現場で実践をされている方々の発表や、参加者の皆様との語り合いを通して、チームでのアプローチについて具体的に考えていくことにしました。本セッションを通し、これからの学校教育全体に対する教師コミュニティの可能性について、皆さんと深め合うことができると考えています。

Session 0 オリエンテーション 13:00-13:10

Session I ポスターセッション 13:10-14:10

Session II シンポジウム 14:20-15:50

シンポジスト

福井市啓蒙小学校長	川崎 清美 氏
板橋区立赤塚第二中学校教諭	岡部 誠 氏
福島県立ふたば未来学園高等学校教諭	對馬 俊晴 氏

コーディネーター

福井大学教職大学院准教授（福井大学教育学部附属幼稚園教諭） 青木 美恵 氏

Session III フォーラム 16:00-17:40

Zone B 教師教育 21世紀の教師教育をイノベーションする

—学校を刷新するマネジメントリーダーの資質能力を問う—

—これからの学部段階の教員養成を考える—

Zone B では、生涯にわたる教師の職能成長を支える教師教育という視点から、“21世紀の教師教育をイノベーションする”をテーマとしています。

B1 学校を刷新するマネジメントリーダーの資質能力を問う

現在、教育改革の大きな展開の中で、学校の組織文化を踏まえつつ、改革への長く広い展望を持ち、長期的な学校改革への広汎な協働を生み出し支えていく、新しいスクールリーダーシップが求められています。

このことを踏まえ、福井大学教職大学院では、今年度から管理職になることを前提に入学する「学校改革マネジメントコース」を立ち上げました。本学教職大学院の特徴である「学校拠点方式」により、学校ごとの抱えるマネジメント課題について、学校改革のビジョン、改革を進める組織づくり、改革に伴う危機管理に注意をむけつつ、改革期の組織マネジメントという課題を焦点とする、新しいコースです。

昨年12月に中央教育審議会から出された答申「これからの学校教育を担う教員の資質能力の向上について ～学び合い、高め合う教員育成コミュニティの構築に向けて～」においても、教職大学院において、従来のミドルリーダーの養成とともに、教育委員会のニーズに合わせて、管理職候補者となる教員に対する学校マネジメントに係る学修の充実を図り、管理職コースを設置することや、教育委員会との連携による管理職研修を開発・実施することの必要性が謳われています。

そこで、今回の Zone B では、「学校を刷新するマネジメントリーダーの資質能力を問う」と題し、これからの組織マネジメントの在り方やマネジメントリーダーに求められるもの、またその養成などについて、福井大学教職大学院の取り組み、教員養成系大学における教師教育改革とマネジメント、文部科学省の考える管理職コースの姿、報道関係者から見るマネジメントと学校の課題などから、関係のシンポジスト4名で論議していただくとともに、引き続いて行われるフォーラムでは、少人数のグループで参会者の皆様方と共に論議していきたいと思っております。

Orientation オリエンテーション 13:00-13:10

Session I ポスターセッション 13:10-14:10

Session II シンポジウム 14:20-15:50

シンポジスト

独立行政法人 国立高等専門学校機構監事
・前兵庫教育大学学長

加治佐 哲也 氏

文部科学省高等教育局
大学振興課教員養成企画室長

柳澤 好治 氏

福井新聞社論説委員長
福井大学教職大学院教授

遠藤 富美夫 氏
三田村 彰 氏

Session III フォーラム 16:00-17:40

Session I, IIを受け、小グループに分かれて参会者の皆様方と議論を進めます。

B2 これからの学部段階の教員養成を考える ―実践を聴き、夢を語る―

教員養成をめぐる制度の見直しへの提起が重ねられ、とりわけ教職免許制度の改定が迫ってきています。しかし、長い蓄積の中で培われてきた組織の中で、新しい課題への取り組みを進めていくことには大きな困難がともないます。それぞれの実践と経験を活かした、当事者としての知恵が問われてきていると思います。

今回、学部において教員養成に携わる当事者が、互いの取り組みを聴き合い、語り合う新しいセッションをひらいていくことになりました。大学における教員養成をどのように支え、また今後に向けて発展させていくのか。さまざまな背景と専門を持ち、学部での教員養成に携わっている当事者同士、現実の中での互いの取り組みを聴き合い、語り合う場を創っていきたいと思います。

初回となる今回は、少人数で多様なメンバーが大学を超えて教員養成の取り組みを聴き合うことを中心に据えたいと思います。それぞれの取り組み、そこでの工夫、あるいは課題や悩みも含めて共有し学び合いながら、これからの学部における教員養成への夢を、当事者としてふくらませていくことができればと思います。

互いの現実とそこでの取り組みを聴き合うことを通して、また夢を語ることを通して、さまざまなキーワードがセッションの中で浮かび上がってくる。それを次回のセッションにつないでいきたいと思います。

Session 0	オリエンテーション	13:00-13:10
Session I	ポスターセッション	13:10-14:10
Session II	シンポジウム	14:20-15:50
Session III	フォーラム	16:00-17:40

<報告者>

東京家政大学	結城孝雄 氏
金沢大学	村井淳志 氏
鳴門教育大学	山田芳明 氏
静岡大学副学部長	江口尚純 氏
静岡大学	渋江かさね 氏
長崎大学	藤井佑介 氏
玉川大学	石井恭子 氏
福井大学学部長	石井バークマン麻子 氏
福井大学	濱口由美 氏
福井大学	小林和雄 氏
福井大学	廣澤愛子 氏
福井大学	大西将史 氏
福井大学	笹原未来 氏

Zone C コミュニティ 学び合うコミュニティを培う

— 持続可能なコミュニティをコーディネートする —

これまで Zone C では、各地で取り組まれている長期に渡る実践の歩みとその展開を、地域・世代・領域を超え共有し検討し続けています。そして、ここ数年はコミュニティの発展における「持続性」をめぐる問題に焦点を当て、互いの実践から学び合っています。現在、私たちが地域や職場で出会う課題はある一つのアプローチで解決しえないものへとより複雑化・高度化しています。そのため、地域の発展を支える自治や学習においてもその持続的な展開をどのようにコーディネートしていくかがこれまで以上に問われていると言えます。この問題意識と視点を引き継ぎながら、Zone C は、前回の互いに重なり合う二つのテーマ C1「若者と地域」・C2「地域と学校」をさらに問い深めていきます。

人口減少・移動の更なる進行によって、地域社会の存立そのものが危ぶまれるとともに、「地方創生」が重点課題としてクローズ・アップされてきました。そのような中、C1 では、あらためて新しい世代の主体的な実践や地域活動に光をあてながら、その持続的な展開を支えるコーディネートの可能性と課題を考えていきたいと思えます。

また、昨年 12 月には「学校と地域の連携・協働」にかかわる課題整理と今後の包括的な方向性を提起する中央教育審議会答申が出されましたが、子どもたちの学びや成長を支えることで学校と地域がともに学び合うという実践は、各地で着実に積み重ねられてきています。C2 では、そのような実践の長い歩みや新しい試みを交流し、その価値を互いにじっくりとふり返りながら、子どもも大人も育ち合うコミュニティのこれからを考えていきたいと思えます。

C1 学び合うコミュニティを培うー若い世代と地域を結ぶー(会場:AOSSA)

C1は、福井市教育委員会生涯学習室・福井市中央公民館の協力の下、JR福井駅東口前のAOSSAが会場です。Session I ではフロアをまたぐ空間的な拡がりのなかにポスターを配置し実践交流を行います。Session II では、「持続可能なコミュニティをコーディネートするー若い世代と地域を結ぶー」と題しシンポジウムを行います。若い世代が主体的に活動を進め地域に参画していることの意味を確認しながら、新しい世代の活動をどのように支えていけるのか、また、それをどのようにコーディネートしていけるのかを各地の取り組み事例をもとに考えていきます。Session III では、シンポジウムの問題提起を受け、6人程度の小グループを組み互いの取り組みを交流・共有していくクロスセッションを行います。多くの皆様のご参加・ご来場を心よりお待ちしております。

Session 0 オリエンテーション 13:00-13:10 AOSSA 6階 (参加受付ブースあり)
Session I ポスターセッション 13:10-14:10
Session II シンポジウム 14:20-15:50

「持続可能なコミュニティをコーディネートするー若い世代と地域を結ぶー」
シンポジスト

一般社団法人みやぎ連携復興センター 高橋 若菜 氏
さこう工務店 店長 児川 朋香 氏

コーディネーター

福井市教育委員会生涯学習室 齋藤 法之 氏
福井大学教職大学院特命助教 半原 芳子 氏

Session III フォーラム 16:00-17:40

C2 地域と学校はいかに学び合うのかー大人も子どもも育ち合うコミュニティへー (会場:福井大学文京キャンパス)

C2は福井大学文京キャンパスが会場です。

Session I では、同キャンパスで展開されているZone A「学校」、Zone B「教師」、Zone D「授業研究」とともにポスターにて実践交流を行います。Session II では、「地域と学校はいかに学び合うのかー大人も子どもも育ち合うコミュニティへー」と題しシンポジウムを行います。学校と地域のかかわりを捉え直そうとしている活動や、地域に暮らす大人たちと子どもたちとの結びつきを編み直す各地の取り組み事例をもとにテーマを問い進めていきます。Session III では、シンポジウムの問題提起を受け、6人程度の小グループを組み互いの取り組みを交流・共有していくクロスセッションを行います。多くの皆様のご参加・ご来場を心よりお待ちしております。

Session 0 オリエンテーション 13:00-13:10

Session I ポスターセッション 13:10-14:10

Session II シンポジウム 14:20-15:50

「地域と学校はいかに学び合うのかー大人も子どもも育ち合うコミュニティへー」
シンポジスト

上田市教育委員会青少年育成指導員	伴 美佐子 氏
福井市越廼小学校教諭	川崎 耕介 氏
福井市越廼公民館主事	小畑 幸子 氏

コーディネーター

福井大学教職大学院准教授	宮下 哲 氏
--------------	--------

Session III フォーラム 16:00-17:40

Zone D 授業研究 教師の資本を授業研究によっていかに培うのか — 子どもと教師の学びを支えるために —

教師が専門職として生涯にわたって学び続け、成長し続け、新しい時代の授業づくりへの意欲を高め維持していくために、そして、未来を築いていく子どもたちの学びと成長を支えるために、日本独自の学校文化・教師文化である授業研究に大きな期待が寄せられています。しかし、ただ授業研究を実施すれば教師の指導力や授業づくりへの意欲が向上するわけでもなく、また、子どもたちの学力や生活力が向上するわけでもありません。何のために授業研究を実施するのか、いかなる授業研究を実施するのか、どのように授業研究を実施するのか、私たちはこれらの問いを常にもちながら、確かな戦略をもって授業研究を実施することが必要になります。

Zone Dでは前回に引き続き、「専門職の資本」※という考え方に基づいた「教師の資本を授業研究によっていかに培うのか」というテーマで各Sessionを進めていきます。未来を築いていく子どもたちの学びと成長を支えている実践者や研究者の方々、「専門職の資本」を磨きはじめた若い実践者の方々にご参会いただければと思います。

※「専門職の資本」は人的資本、社会関係資本、意思決定資本の3つからなり、これらは、教師が専門職として生涯にわたって学び続け、成長し続けていくために投資できる（磨いていける）ものです。Zone Dでは、授業研究の力を「専門職の資本」へ投資するという観点から、参会者の皆様と一緒に考えていきたいと思えます。

Session 0 オリエンテーション 13:00-13:10

Session I ポスターセッション 13:10-14:10

Session II シンポジウム 14:20-15:50

「子どもと教師の学びを支える福井の授業研究 PART 2」

シンポジスト

高浜町立青郷小学校教諭 砂原 亘 氏

福井県立丹生高等学校教諭 小川 駿也 氏

コメンテーター

福井大学教育学部附属中学校副校長 牧田 秀昭 氏

コーディネーター

福井大学教職大学院准教授 木村 優 氏

Session III フォーラム 16:00-17:40

「子どもと教師の学びを支える授業研究の実践」

A. 学校における授業研究の多様性から学び合う

長崎市立西浦上小学校教諭 野口 将信 氏

B. 協働連携による授業研究

勝山市立野向小学校教諭 山田 啓子 氏

C. 高校における授業研究の発展

福井県立高志高等学校教諭 西 繁寿 氏

6/26 Sun. 8:20-14:00

実践の長い道行きを語り 展開を支える営みを聴き取る

①はじめに 8:30-8:40 ②自己紹介 8:40-9:00 ③報告Ⅰ 9:00-10:40 ④報告Ⅱ 10:40-11:40 ⑤報告Ⅲ 12:20-14:00

地域や職場で自分たちの実践をじっくり跡づけ、その省察をふまえて実践を編み直していく。地域・職場を大人同士が実践を通して学び合う協働体（コミュニティ）に変えていく。その中で一人一人が、省察的で主体的な実践者としての力を培っていく。そうした地道な取り組みが少しずつ蓄積されてきています。

試行錯誤を重ねながら大切に進められてきているそうした取り組みを、より広く伝え合い、じっくり展開を聞き取り、学び合う場を作りたいと思います。

小グループで実践の展開を聴き合います。

実践記録を土台に実践の歩みをじっくり語っていきたいと思います。心に残っている場面。言葉、表情、行為。その時々感じていたこと。ふりかえる中で見えてきたつながり。話し合いと記録づくりの中ではじめて気づいたこと。いま改めて跡づけ直して考えていること。

語られる展開に耳を傾け、活動の場面を共有し成長のプロセスを探っていきたいと思います。実践の過程をじっくり語り・聞きあう場、実践を共有して協働探究できる関係がより広く培われていくことが、その後の実践への問いの深まりを支える拠り所になると思います。

- 申込は上記ホームページから申込書式をダウンロードし、必要事項をご記入の上、メールで送っていただく形で行います。受付期間は 5 月 10 日から 6 月 19 日を予定しています。
- 6/26 の sessionⅣの実践報告者を募集しています。申し込みの際にお知らせ下さい。
6/26 の sessionⅣの参加についてのお願い＝午前午後全日程（8:20-14:00）の参加をお願いします。
- ラウンドテーブルでは少人数で互いの実践の長い展開を聴き合い、考え合うことを目的としています。そのため 8:20-14:00 の全日程を 6 人程度の固定メンバーの小グループでの協働探究として進めます。原則として 8:20-14:00 の全日程に参加できるメンバーで進めますので、よろしくお願いいたします。プログラムの変更等があり得ます。最新の情報を福井大学教職大学院ホームページ <http://www.fu-edu.net/> をご確認ください。